



いとう  
伊藤 おさむの議員レポート

# ホット・ホット・越谷

平成 22 年 7 月 発行 No.27

TEL 048-986-9553

E-mail osamuchan@ae.wakwak.com

〒343-0841 越谷市蒲生東町 8 番 37 号

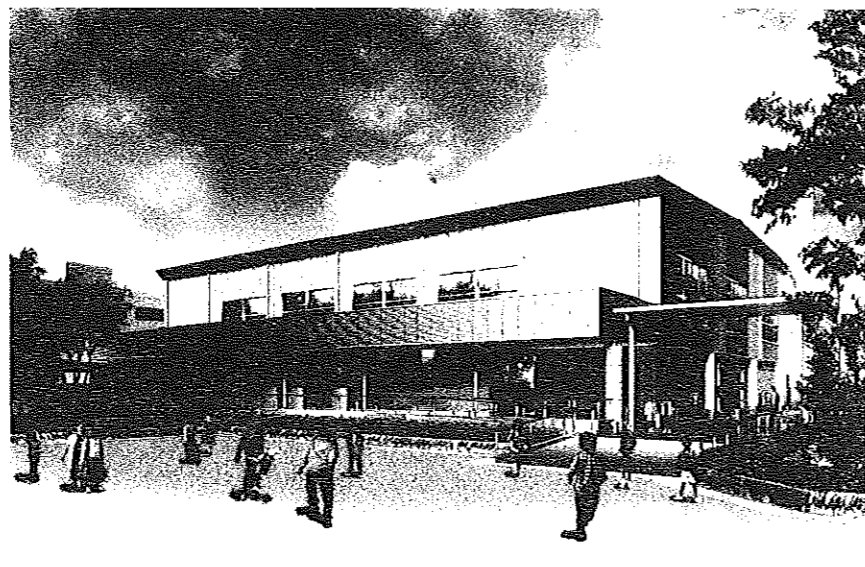
FAX 048-989-2397

URL <http://www.starosamuchan.com/>

## 高齢者に笑顔を！子どもたちに夢を！地域に活力を！

蒲生小学校の体育館は、昭和 38 年に建築して以来 47 年が経過していますが、耐震診断を行った結果、現在の体育館を取り壊し、新しく建て替えることとなりました。

建て替えにより、老朽化した建物及び設備が新しくなり、子どもたちが安全に学べる環境の確保が図られます。



建物は、鉄骨造平屋建で、面積 680㎡から 937.42㎡と広くなり、太陽光発電システムの設置や省エネタイプの照明を使用するなど、環境への配慮を行っています。また、災害時の避難場所として対応できるよう倉庫の一部を防災備蓄倉庫として使用可能とするほか強化ガラスや飛散防止フィルム等の整備をします。 履行期限は平成 23 年 3 月 25 日

## 持論

詩人相田みつをさんの作品の中に「うばい合えば足らぬ わけ合えばあまる」で始まる詩がある。民主党のキャッチフレーズの「コンクリートから人へ」という言葉のとおり、政権が交代してからあらゆる公共事業が廃止・縮減された。そして、大きな公共事業を専門分野とする大手企業が、民間市場に入り込み民間業者と仕事のうばい合いをしている。体力のある大手企業と中小零細企業とでは勝負の行方は明らかであり、多くの中小零細企業が仕事を失い人々は路頭に迷っている。この詩の続きには「うばい合えば憎しみ わけ合えば安らぎ」とあるが、「うばい合う」か「わけ合う」かは政治が主導することであって、安らぎを求めることこそが政治の原点ではないだろうか。今夏の参議院選挙の結果を受けて、政権政党である民主党には政治の原点に立ち返っていただきたい。

# 越谷市議会議員伊藤おさむの議会報告！

## 「6月定例会報告」

平成 22 年 6 月定例会市議会が、6 月 1 日から 6 月 16 日までの 16 日間にわたり開催され、市長提出議案 14 件、議員提出議案 1 件がそれぞれ同意、可決されました。市長提出議案の主な内容については、1・2 面で取り上げました蒲生小学校体育館の増改築工事の契約や障害者就労訓練施設(しらこぼと)の管理条例制定などですが、最終日に追加議案として監査委員の選任が行われ、当会派の島田勝三議員が監査委員に選出されました。

また、6 月議会では、これまでの先例による正副議長の変更があり、新しく議長に藤林富美雄議員(公明党越谷市議団)、副議長に藤森正信議員(新政クラブ)がそれぞれ就任いたしました。

## 議員の費用弁償廃止を提案！

越谷市議会議員には、今まで報酬のほかに会議等に出席した場合、1 日につき 2,500 円の「費用弁償」が支給されていました。

その理由は、地方自治法 203 条に費用弁償の額を条例で定めるとあり、交通費や日当、或いは諸経費等に要する費用を勘案し条例に標準的な費用(2,500 円)として定められていました。

しかし、昨今の厳しい経済状況や地方自治体における行財政改革の問題を勘案した場合、議決機関である議会から経費削減の可能性を模索することが必要ではないかとの考えの下、会派内で検討した結果、全員一致で議員提出議案を提出することとなりました。

## 議員提出議案を可決!!

6 月 16 日の議会最終日、各会派代表者の賛成の署名をいただき、提案者である私から本会議場で提案理由の説明をさせていただいた結果、全会一致で可決となりました。

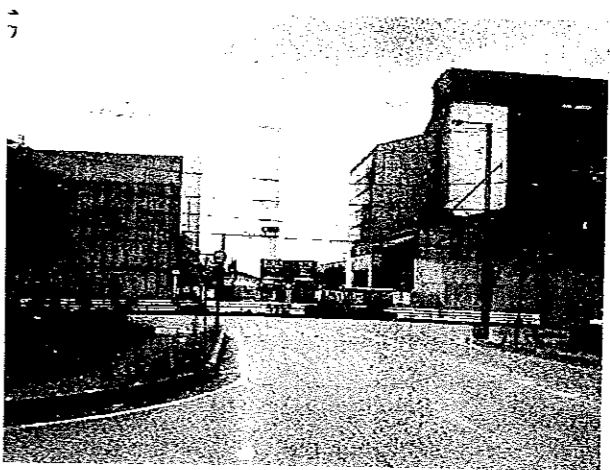
このことにより、7 月 1 日から議員に対する会議出席等に関する費用弁償の支給が廃止され、平成 22 年度の当初予算ベースで試算すると約 388 万円の削減効果に繋がりました。

また、日帰りによる行政調査等の場合、市内、或いは本市に隣接する市町については支給の対象になりませんが、それ以外の地域に関しては、越谷市職員等の旅費に関する条例を適用し、市長に支給する旅費額に相当する額を支給することといたしました。



# 八潮越谷線の

## 早期開通を要望



谷市の建設部長、道路街路課長と共に県土整備事務所長を訪ね、現在の状況や問題・課題、或いは開通時期等について話し合うと同時に、早期開通の要望を述べてまいりました。

現在、工場の移転については、郊外移転ではなく構内移転として工場施設全体の建物・物件調査を行い、平成二十二年度中に移転工法案を決定するため関係機関と調整を行っております。

また、生産ラインが分断されることから、工場の機能を確保するための問題点や操業しながら移転を進めるための課題等があるため全て移転が終了するにはかなりの時間も必要とのことです。

越谷市内には、首都高速六号三郷線(八潮南ランプ)からせんげん台駅を結ぶ八潮越谷線があります。相生陸橋以北に大規模工場があり、わざわざ迂回をしなければならぬ状況が何年も続いています。その為、私の地元の蒲生地区からも開通の遅れに対する不満や怒りの声が続々絶えません。これらの声に応えるべく六月十八日、私は会派を代表し越

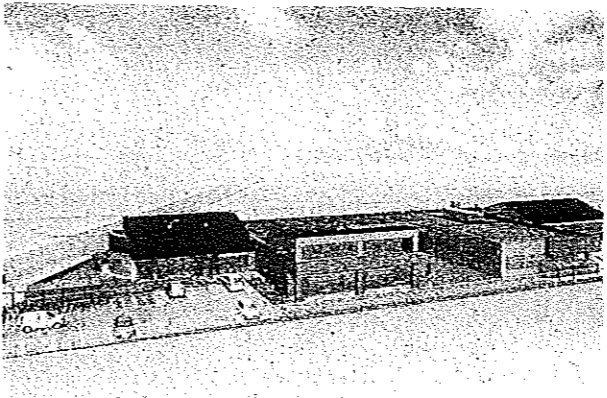
谷市は、障害者の就労支援機能の充実を図るため「越谷市

るのか現時点では明言できないとのことでした。

このような大規模工場を操業させたまま移転することは埼玉県でも初めてのケースだと伺いましたが、近隣の住民のみならず、道路を利用する全ての人たちが早期開通に期待していることを所長に強く要望してまいりました。

### 障害者就労訓練施設

#### (しらこぼと)を建設



越谷市は、障害者の就労支援機能の充実を図るため「越谷市

庁舎四階の本会議場において、学生議会が開催されました。



また、新施設は新体系サービス事業所の通所者に限らず、市内の障害者関係施設や在宅で就労を目指している障害者就労支援センターの相談者等が施設内の「ふれあいコーナー」等を利用して、実習や体験、訓練などをする場としての活用も予定されており、障害者就労訓練の中核的施設となるものと考えています。

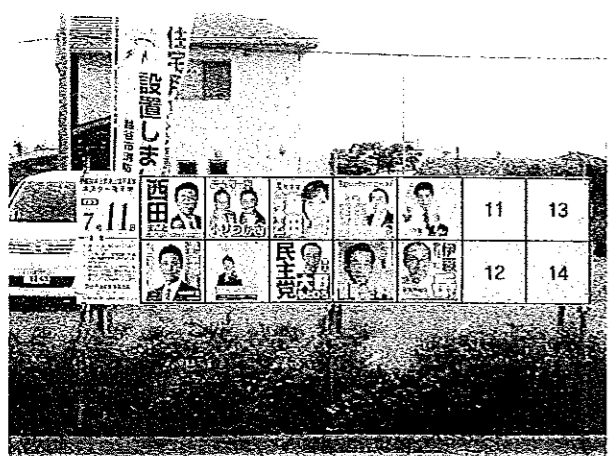
### 学生議会を開催!

#### 若者の関心上へ

昨年十二月定例会の代表者会において、私から「若者に政治参加の場を提供すべき」と学生議会の開催を提案させていただきましたが、五月十日、市

今行われた学生議会は、質問者に大学生、答弁者に現職市議をそれぞれ対象とした越谷市議会単独の開催で、執行部や教育委員会が主催する一般的なものは一線を画した新しい取り組みとなりました。

三十二名の学生議員には、市内の県立大学と文教大学から半数ずつを選出し、残る十六人については、一般公募から選出いたしました。



### 参議院議員選挙

参議院議員選挙が行われ、民主党に対する国民の怒りが投票行動で示された結果、民主党単独で参議院過半数を獲得することは出来ませんでした。

つ議員を選出し、正副議長を併せた十八名の体制で臨みまし。当日は、学生議長の議事進行により、学生議員が順番に登壇して一般質問を行いました。一般質問の持ち時間は、全ての学生議員が質問出来るように一人八分としましたが、短い時間であるにもかかわらず、本市の「投票率の向上対策」や「医療体制」或いは「就労支援」などの厳しい質問が相次ぎました。

た衆議院議員選挙で自民党から民主党へと政権交代が行われましたが、国民に期待を持たせたガソリン税の暫定税率廃止や高速道路の無料化、或いは普天間基地の国外移設など、選挙時に掲げた民主党の公約は結局実現することができず、国民の希望が絶望に変わってしまいました。

そのような中、七月十一日に参議院議員選挙が行われ、民主党に対する国民の怒りが投票行動で示された結果、民主党単独で参議院過半数を獲得することは出来ませんでした。